



# 報告と要望

2015年12月16日

ソーシャルイノベーション本部  
預保納付金事業チーム

## 事業開始までの経緯

2012年4月

犯罪被害者等支援事業の「担い手」に選定

2012年11月

預金保険機構と協定書の締結

2013年3月 入金、指定された用途

奨学金

40億円

助成事業

7.5億円

予備資金

5億円

2013年4月 事業開始

## 事業開始までの経緯

### 外部委員会の設置【2015年12月現在】

- ▶ **安西 愈** 弁護士（安西法律事務所）
- ▶ **河野栄子** 株式会社リクルート元会長
- ▶ **佐藤大吾** (一財)ジャパンギビング代表
- ▶ **椎橋隆幸** 中央大学法科大学院教授
- ▶ **山本秀也** 産経新聞東京本社編集委員

# 獎學金事業

## 概要

# 奨学金事業概要

## まごころ奨学金

- 犯罪被害に遭われた方の子どもを対象
- 無利子貸与
- 以下の金額を上限に1万円単位で設定可

	月 額		入学一時金	
大学院	100,000 円		300,000 円	
大学・短大 高等学校 4 年以上 専修学校専門課程	80,000 円		300,000 円	
高等学校 高等専門学校 3 年以下 専修学校高等課程 特別支援学校高等部	国立・公立	30,000 円	国立・公立	60,000 円
	私立	50,000 円	私立	250,000 円

# 奨学金事業概要

## 申請方法

- 随時受付（2014年6月改正）
- 募集要項とチラシは全国へ配布
  - ▶ 全国の警察署**1,167**署
  - ▶ 全国の市区町村**1,741**カ所
  - ▶ 全国警察本部**51**カ所
  - ▶ 全国**48**の犯罪被害者支援センター
- 専用ホームページからダウンロードも可
- 要望に応じて当財団から奨学生へ郵送

ホーム >



## TOPICS

- 2015/10/21  [まごころ奨学金募集チラシ](#)が新しくなりました！
- 2015/9/18 2016年度 助成金募集要項を公開いたしました！  
詳しくは[募集要項](#)をご確認ください。
- 2015/8/3 [奨学生の声](#)を公開いたしました！

# 奨学金事業概要

## 情報発信

- プレスリリースの配信(全国各紙・雑誌90社)
- 日本学生支援機構・行政等ホームページ
- 専用ホームページの開設、SNSを活用

facebook



twitter



# 奨学金事業概要

## 審査方法 (随時審査／審査期間2～3カ月)

- 提出書類確認

- ▶ 申請書
- ▶ 犯罪被害状況照会票
- ▶ 証明書類

(所得証明書、在学証明書、戸籍謄本、住民票)

- 全件ヒアリング(本人および親権者)

- 事件新聞記事の確認

- 預金保険機構HPにて詐欺口座の確認



まごころ奨学金 貸与申請書【1】 (第1号様式-1) [本人用]

申請者ID: \_\_\_\_\_

フリガナ: \_\_\_\_\_ 性別:  男  女

氏名: \_\_\_\_\_

生年月日: 西暦 年 月 日 生 (満 歳)

フリガナ: \_\_\_\_\_

住所: 〒 \_\_\_\_\_ 都・道 市・区・町 村・部

実家  一人暮らし  寮  その他 ( )

電話番号: \_\_\_\_\_

Eメール アドレス: \_\_\_\_\_ (PC)

FAX: \_\_\_\_\_

年 (西暦) 月 \_\_\_\_\_ 経歴・学歴

※太黒枠の中のみご記入ください

申請者の写真 (縦4cm×横3cm (撮影より3ヶ月以内))

認定: \_\_\_\_\_

標準: \_\_\_\_\_

FAX: \_\_\_\_\_

※携帯電話やメールアドレスをお持ちでない場合は「なし」とご記入ください。

# 奨学金事業概要

	2013	2014	2015 (2015年11月 30日現在)
合計	31人	53人 新規27人 継続26人	60人 新規27人 継続33人
貸与 金額	28,280 千円	46,310 千円	54,660 千円

## 奨学金事業概要(被害態様別)

	2013	2014	2015
殺人	7人	8人	4人
傷害	4人	8人	8人
交通事故	6人	10人	19人
詐欺	13人	19人	14人
DV他	1人	8人	15人

# 奨学金事業概要(学校種別)

	2013	2014	2015
大学院	0人	2人	2人
大学・高等専門学校4年生以上 または専修学校 専門課程	24人	40人	42人
高等学校、高等 専門学校3年以下 または専修学 校高等課程	7人	11人	16人

# 奨学金事業概要

## 返済

(2015年11月30日現在)

- 貸与者合計**80名**

- ➔ **16名**が返済開始、**8名**が返済猶予

- **16名**返済中

- ▶ 月額 **5,000円**…**8名**、**10,000円**…**8名**

- ▶ 期間 10年未満…………… **5名**

- 10年以上～20年未満…**9名**

- 20年以上～30年未満…**2名**

- ▶ **16名**の返済残高 **1,900万円**

## 返済猶予

### ● 8名返済猶予

- ▶ 進学のため継続貸与中  
(高校→大学、大学→大学院へ) … **7名**
- ▶ 専門学校中退後、経済的困窮…… **1名**

# 奨学金事業概要

## 奨学生の家庭状況

- 約**6割**が母子家庭・両親がいない子ども
- 約**2割**が所得ゼロ・生活保護家庭
- 平均所得**169万円**

# 奨学金事業概要

## 奨学生は奨学金を併用

- 約**4割**が他の貸与型奨学金と併用
  - ▶ 貸与中の奨学生**60名**のうち  
併用あり…**31名**
    - 貸与型奨学金**25名**  
(日本学生支援機構、あしなが育英会  
交通遺児育英会、所属学校)
    - 給付型奨学金 **6名**  
(犯罪被害救援基金、企業、所属学校)

- 厳しい経済状況におかれている奨学生に、さらに負担を強いている。
  - ▶ 高校から大学院卒業まで貸与の場合  
卒業と同時に900万円の返済額が発生
- 現段階では想定された貸与人数(2~300名)を下回っており、奨学金資金が十分活用できていない。

# 助成事業 概要

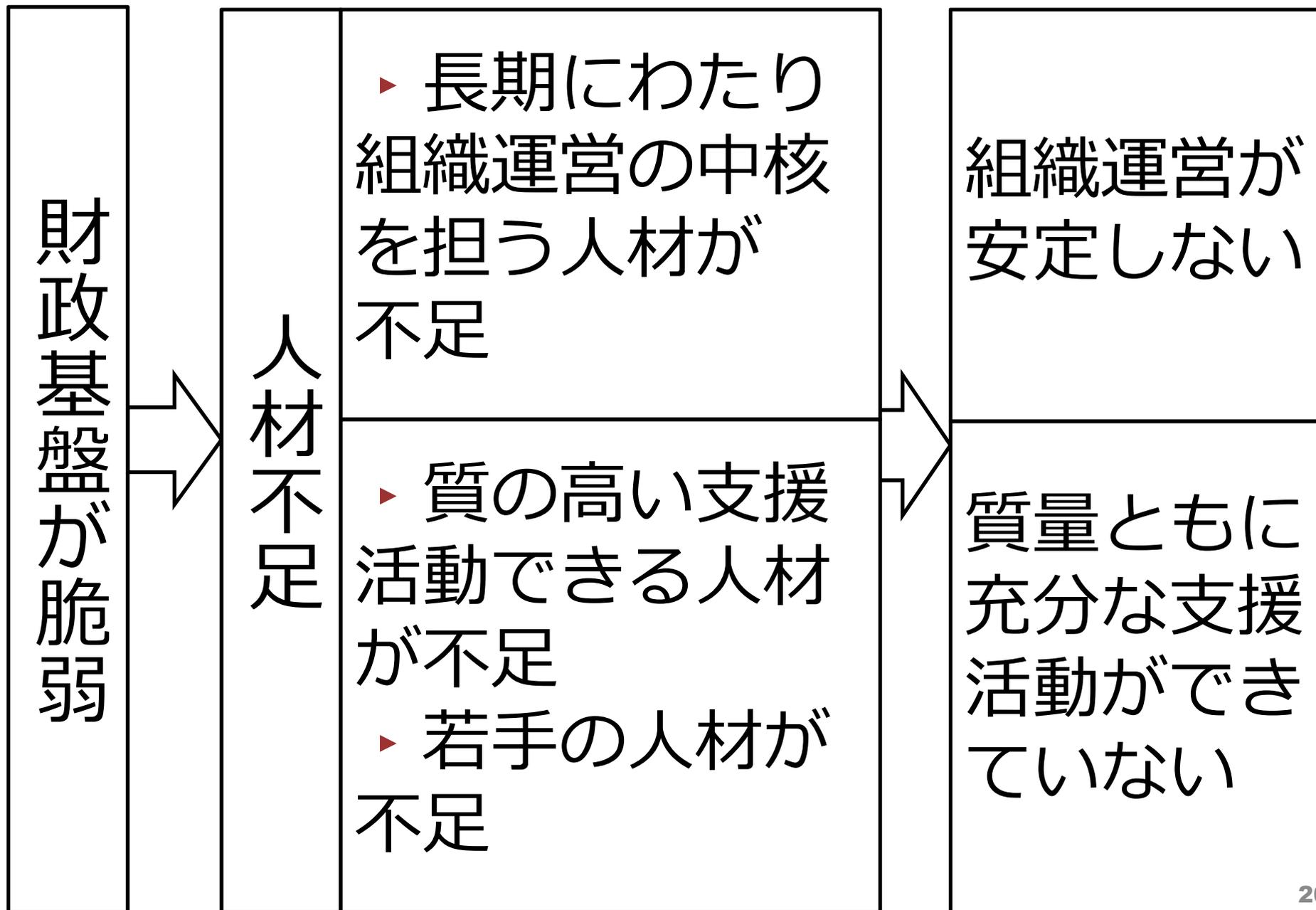
## 支援の柱

# 24時間365日

# 犯罪被害者をささえる日本へ

- 犯罪被害者支援団体の自立に向けた基盤づくり
- 犯罪被害者をささえる人づくり
- 犯罪被害者支援活動の充実
- その他、先駆的な取り組み

# 犯罪被害者支援団体が抱える問題



# 助成事業の考え方

被害者支援団体

財政基盤が脆弱

助成金資金

いずれはなくなる財源

団体運営の自立に向けた  
基盤づくり  
(ファンドレイジング等)

# 助成事業概要

単位：千円

事業名	2013年度		2014年度		2015年度	
	事業数	金額	事業数	金額	事業数	金額
団体運営の自立に向けた取り組み	31	110,180	38	165,650	40	171,000
広報啓発	3	25,760	2	30,230	4	32,580
相談員のレベルアップ	1	36,440	3	38,050	4	46,350
直接的支援の普及と定着	9	26,630	3	16,770	6	29,100
施設・資機材整備	8	7,100	0	0	12	12,070
車両整備	0	0	11	65,580	9	20,580
性犯罪	2	7,160	1	10,210	2	11,390
その他	5	19,480	5	24,370	7	26,710
<b>合計</b>	<b>59</b>	<b>232,750</b>	<b>63</b>	<b>350,860</b>	<b>84</b>	<b>349,780</b>

## 助成事業概要

### 団体運営の自立に向けた基盤づくり

- 中期的収支計画と目標の作成
- ファンドレイザーの雇用
- 広報啓発活動の実施

### 相談員のレベルアップ

- 全国標準のカリキュラムの作成
- 全国研修会の開催

### 直接的支援の普及と定着

- 「犯罪被害者等早期援助団体」指定に向けた体制構築

# 助成事業概要

## 募集

- 専用ホームページ
- プレスリリースの配信(全国各紙・雑誌90社)
- 主要6地域で説明会実施

## 申請方法

- 申請書ダウンロード・Eメールにて受付

申請期間 10月

## 審査期間

- 3カ月
- 外部委員会にて審議、理事会で決定

# 助成事業概要

## 審査方法

- 全件ヒアリング（面会・電話）
- 申請団体訪問
- 全国被害者支援ネットワークの会議出席（事務局長会議、支援業務従事者会議等）
- 助成事業現場訪問、現状把握（イベント参加、研修への参加・同行等）

# 助成事業概要

助成契約



助成金受領



事業の実施



実地監査  
外部事業評価



事業成果の  
公開



完了報告書  
の提出



## フォローアップ

- 取材および情報発信
- ファンドレイジングワークショップを開催
  - ▶ 資金調達の考え方・手法に焦点
  - ▶ 1泊2日／41団体・45名参加
- 犯罪被害者支援活動の周知啓発を目的に  
全国キャンペーンを企画・計画策定

## 助成金資金

- いずれは無くなり、中長期的見込みが立て難い性格の財源

2013年度	4.0億円
2014年度	5.6億円
2015年度	4.5～5.0 億円 (予定)
2016年度 以降	??? 億円 ⋮

# 助成事業 課題

**目標:** いつでも、どこでも、被害者が望む支援を提供すること

被害者支援団体

財政基盤が脆弱

助成金資金

いずれはなくなる財源

団体運営の自立に向けた  
基盤づくり  
(ファンドレイジング等)

# 助成事業 課題

**目標:** いつでも、どこでも、被害者が望む支援を提供すること

## 被害者支援団体

- ▶ 組織運営が安定しない
- ▶ 質量ともに十分な支援活動ができていない

## 助成金資金

いずれはなくなる財源

人材の雇用と育成

# 助成事業 課題

**目標:** いつでも、どこでも、被害者が望む支援を提供すること

## 被害者支援団体

- ▶ 組織運営が安定しない
- ▶ 質量ともに十分な支援活動ができていない

## 助成金資金

**中長期的に安定した財源**

人材の雇用と育成



THE NIPPON  
FOUNDATION

要 望  
要 望

奨学金事業

要望

貸与から給付へ  
変更

# 助成事業 **要望**

**奨学金資金(40億円)の  
一部を中長期的財源と  
して、助成事業(人材の  
雇用と育成)に活用**